



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2011年6月号

「主題」

- 国際会長 : 「心新たに立ち上がろう」
 アジア地域会長 : 「心新たに立ち上がろう」
 西日本区理事 : 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」
 中部部長 : 「ワイズはフェイス to フェイス！」(コミュニケーションは顔を見て声をかけて)
 プラザクラブ会長 : 「とにかく楽しくやってみよう」
 【評価・計画=すべての事業について評価される結果を残し、更なる発展を次期にゆだねる。一年間の事業活動内容を提出し、その評価を得る。】

6月例会および今後の予定案内

【6月第1例会(POM)】

日時：6月18日(土)－19日(日)・現地16:00集合
 場所：かんぼの宿 知多美浜
 〒470-3233 知多郡美浜町奥田字砂原 39
 TEL. 0569-87-1511

会費：12,000円/名・5,000円/名(女性)

◇アルコールの持ち込みは自由です。

◇宿の近くで潮干狩りができます。ご希望の方は各自服装・道具をご用意ください。入場料は1100円/名、19日の干潮時間は14:13頃です。

【6月第2例会】

日時：6月2日(木)・18:45-

場所：名古屋YMCA会議室

内容：次月例会打合わせ

出席義務者：役員(島崎・櫛田・後藤)

7月担当予定者(小澤・櫛田)

8月担当予定者(櫛田・後藤)

【今後の予定】

1. 東日本大震災 被災地支援街頭募金

日時：6月5日(日)・13:00-16:00

集合場所：名古屋 or 南山YMCA 時間：12:30

募金場所：栄・名古屋駅・八事 時間

2. 11の日街頭募金

日時：6月11日(土)・15:15-16:30

集合場所：中央教会 時間：15:00

募金場所：栄

3. 老人ホーム音楽慰問

日時：6月26日(日)・小澤宅11:00集合

場所：アミーユ浄心

名古屋市西区兎玉 2-4-22 TEL. 052-529-1060

5月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者				
		1	2	①	②	③
	大島 孝三郎	○	○			
	小澤 幸男	○				
書記	櫛田 守隆	○	○			
会計	後藤 猛	○				
会長	島崎 正剛	○	○			
直前会長	鈴木 誉三	○				
	高田 廣	○	○			
連絡主事	万福寺 昭美	○	○			
課外活動	①	-----				
	②	-----				
	③	-----				
出席率・%					100.0	
1. ニコボックス		6000			53510	
2. オークション						
当月合計/累計		6000			69910	
7月号ブリテンの寄稿者は大島さんです。 400字詰原稿用紙4-5枚を目安にお願いします。 Eメール moritaka_kushida@ybb.ne.jp						
8月号 後藤/9月号 櫛田/10月号 万福寺 11月号 小澤/12月号 鈴木/1月号 島崎						

5月第1例会報告

日時：5月12日（木）・18：45－20：30

場所：名古屋YMCA会議室

例会開催に先立ち名古屋クラブの成瀬さんがお見えになり、次々期西日本区理事就任に際してのご挨拶がありました。2013年6月2-3日、四日市・名古屋クラブをホストクラブとして長島温泉のホテル花水木で西日本区大会を予定しています。なお、同行された平野交流事業主任からは、来月の西日本区大会への参加者が予定人数に至っておりません。ぜひご参加願います、との呼びかけがございました。



(ご挨拶をされる次々期理事の成瀬さんと平野交流事業主任)

1. 卓話：災害ボランティア活動

講師：遠藤恵美子(名古屋YMCAスタッフ)

3月11日、父親は仕事先の久慈市、母親は自宅の仙台市で地震に遭われたという地元出身の遠藤さんは、4月2日から9日まで仙台市宮城野区の災害ボランティアセンターでバケツ、モップなど掃除道具や一輪車など備品貸し出しを担当しながら、ボランティアに駆けつけた多くの人たちの様子やふれあいを、プロジェクトを使いながら淡々と語ってくれました。

センターではボランティアの参加者を4-10人のグループ単位に分け、スタッフたちが仕事の内容を指示して被災者の家に向かわせる。参加される方々の地域や年齢、動機など様々、地元の高校生はテレながら「暇だから」、韓国の留学生は TENT 持参で東京から、鹿児島から片道燃料だけのバイクで走ってきた青年、幼稚園の子供と一緒にのお母さんは「被災された方のために何かをしたい」と、車の運転を受け持つおじさんは70歳を超していた。支援を待つ被災者の方々のニーズは日を追うごとに変わるため、作業の内容も変わりその調整に神経を使う。9日、仕事を次の人に引き継ぎ、すばらしい人たちと一緒に過ごした1週間があつという間に終わった。

最後に素敵なエピソードをご紹介します。大分県玖珠町の方が「熊本から飛んで来ました」と風船に結ば

れた、被災者へのメッセージを送っていただきました。

じしんの多くの人へ

菊池市立小学校

じしんつなみなどに 負けないで

さいごまで がんばってね。

今は生活でニュース見えています。

中村ゆうな

(注：生活とは、小学校第1学年及び第2学年に設置された教科である。)



(熱心にお話をする遠藤さんと熱心にお話を聴く・・・)

5月11日、遠藤さんは金城高校の「春の伝道週間」に招かれ、「全校礼拝の日」に大震災の報告をされましたが、その2週間前に15人の生徒たちに、現地での彼女の活動状況や仙台YMCAが行った東松島市立野蒜(のびる)小学校の子どもたちとの交流のお話をされた。

『野蒜小学校では体育館に避難した生徒たちが津波に流されるという、つらい状況にあった子どもたちと綱引きをしたことが新聞記事になりました。記事と一緒に載った写真の子どもたちは、とても素敵な笑顔を見せてくれています。こんな話を事前に聞いた15人の生徒たちは、自分の思いや考え、感じたことをまとめて「全校礼拝の日」に全校生徒の前で発表されました。その内容を抜粋して原稿にしました。なお、この原稿をプラザのブリテンに記載することは、担当の先生の了解を得ております。

高校生たちの感受性の高さ、小さな話からたくさんを感じ、考え、まとめてくれた力に感動し、感

謝しています。』

春の伝道週間・合言葉は、「できることを、今!」

主題・「すべての人に、笑顔を広げたい!」

聖句・「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」
(ローマ人への手紙 12. 15)

◆3月11日、東日本大震災があつて、それから数日間は、連日テレビでも、被災地の様子が、どの局でも、どの番組でも、その報道がなされていました。

しかし、今、1ヶ月少し経って、私たちは、チャンネルを選ばなければ、もう、この震災の人々のことを知ることができなくなってしまいました。

そのテレビの番組と同じように、私たちも、被災地と離れていることもあり、やはりその人々の悲しみや痛みが感じられなくなってきたと思います。

◆津波の被害があつたことは、「悲しいこと」だけではなく、「恐ろしいこと」だけでなく、それがどんなに「現実」であつたとしても、「現実」として、受け入れられないことです。現地の人たちは、このような、私たちでは、まったく受け入れられないことを経験し、立ち止まり、立ち向かい、今も、戦い続けているのです。

◆最後にわたしたちがみなさんにもっと伝えたいことは、あの綱引きの子たちや写真の子たちをはじめとする、被災した人たちに、一人でも多く笑顔の輪を広げるためのことを、金城生として、これからみなさんとしてゆきたい、ということです。

募金や、節電、買占めをしないということは当たり前です。しかし、この当たり前にだれでもできることを継続してやってゆくことが大事だと強く思います。

それを、自分の満足するためのものではなく、現地の人たちの笑顔を願って。被災地から離れている私たちができることをしなければならぬと思っています。

◆今、私たちが、神様から与えられている笑顔に感謝して、この私たちの笑顔を届けるために、大きなことでなくても、わたしたちのできることをしてゆきたいと思います。

私たち金城生が「一人でも多く」「それぞれの形で」、そして「できるだけ長く」覚えていて、被災地の人たちの「隣人になれるように」と強く、強く、祈り願います。

2. 連絡事項・島崎

(1) 毎月11日の日募金活動

名古屋YMCAは、毎月11日に東日本大震災の募金活動を実施いたします。

(2) チャリティーコンサート

小澤さん主催のジャズコンサート参加費から、14万7639円を支援募金としてYMCAに寄付した。

(3) 6月第1例会(POM)にOB参加

プラザOBの大野・山本・木全さんの3人が参加されます。6月は第1・2例会の開催日順序が逆になります。

すのでご注意ください。(1面参照)

3. YMCA 連絡事項・万福寺

(1面参照)

4. 老人ホームへの音楽慰問・小澤

(1面参照)

5. ジャズコンサート開催・小澤

日時:9月10日(土)・17:30-

場所:相念寺

会費:3000円/名

6. ニコボックス献金を寄付・後藤

本日のニコボックスは6000円、YMCAに支援金として寄付する。

5月第2例会報告

日時:5月19日(木)・18:45-19:45

場所:名古屋YMCA会議室

1. 6月第1例会(POM)補足・櫛田

(1面参照)

2. 西日本区大会の原稿・写真依頼・櫛田

写真・島崎、原稿・大島原稿用紙3枚ほどをお願いします。

3. 次期年間行事予定表・大島

6月第1例会にて決定。

4. YMCA 連絡事項・万福寺

(1) 恒例「国際協力街頭募金」開催

今回は「東日本大震災 被災地支援街頭募金」として行います。(1面参照)

(2) 毎月11日の日街頭募金活動

(1面参照)

7月以降11の日が平日の場合、時間的に不都合の方が多いため、実施(曜)日について再検討する。

(3) パレットキッズと釣り会

日時:8月13日(土)・現地集合10:00

場所:木曾福島 みやま荘

(4) 講演:日野原重明

日時:8月13日(土)・13:30

場所:名古屋市公会堂

会費:一般1000円・ペア券1500円(前売り-100円)

「上様」の一人として

「日本でいちばん多い名前はなんだと思いますか、と問われ田中さんですか、佐藤さんですか、それとも高橋さんですかと答えると、相手は笑いながら上様(うえさま)ですよ、と教えてくれた。ほらお店で買い物して領収書をもらう時に宛名の欄に上様にしといて、という訳です。もちろん正式にはそれぞれの固有名詞を書く事になっている。と言うのも、上様ばかりだと

相手を特定する事が出来ないので、色々な意味で悪用される事があるからだろう。然し、便宜上、上様ですませている人が多いのが現実だ。そもそも宛名を「〇〇」にして、と言っても、その人が「まるまる」で有るかどうかなど判らない。身分証明書等を見せないかぎり判らないではないか。」こんな内容の冊子を見てなるほどと思い、同じような私の経験を我がクラブのブリテンに寄稿して見る事にした。

ある日あるイタリアンのお店での事だが、支払いの時に領収書発行をお願いした。宛名は上様で良いですよ、と言ったところ、店員は暫く考えた後で「うえさまってどう書くのですか」と言うのである。さらに、これも最近のある日、あるお店での事だが、領収書もらう時に同じ事を言ったら、その領収書に「ウエ」と書いたものを渡された。同じような事は続くものらしく、あるお寿司屋さんでは宛名のところに「うえ」と書いてあった。何れもレジにいた若い人で、恐らくアルバイトの人なのであろうが、レジを任せる事があるなら、上様ぐらいの事は教えておいても良いのではないかと思ってしまう。と言うものも、ある郊外にある、そば類を売り物にしているお店で、「そばがきはありますか?」と聞いたところ、そのお店の人に不思議な顔をされた事もあるからだ。その店の店員もアルバイトだろうが、元祖とか本家とか手打ちなどと言う看板をかがけているなら、経営者たるもの、その店の店員にそばがきを知らないようでは名折れだと思わないのだろうか。どうも年齢を重ねると、古い自分の感覚や視点から物を見て違和感を感じる事が多くなっているようである。また、和服の女性が、ぞうりをベタベタとさせながら注文を取ったり、注文の品を運んだりしているようなお店は敬遠したくなってしまった。よく最近の若い者は、ものを知らないとか、言われた事しかしないと云われるが、こう言う現場に接すると仕事を命じたり指導する側も、問題があるように思われる。

話は領収書の事に戻るが、支払いに商品券を出して領収書をお願いすると、商品券でのお支払いに領収書は出せない、と言うあるデパートの中に入っている食べ物のお店のも最近の話である。そう言えばこれはあるチェーン店の喫茶での事だが、客が帰った後の椅子の上を拭いた布でテーブルの上を拭いている店員を見た事がある。人の揚げ足を取るような事はしたくないが、やっぱり気になる事は気になるのである。

なお、「上様」は本来「じょうさま」と読む。新明解国語辞典には、①天皇・将軍など、身分の高い人の尊称。②[領収書などで]「じょうさま」の俗称。とある。10人に訊ねれば9人は「うえさま」と読むだろうから、今回は飲食の場や雰囲気を楽しむ「うえさま」の一人として感じたままを述べてみた。

(高田 廣)

聖書の言葉

【彼らが帰って行ったとき、見よ、主の使いが夢でヨセフに現れて言った。「立って、幼子とその母を連れてエジプトに逃げなさい。そして、私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を探し出して殺そうとしています。」(マタイの福音書 2:13)】

【ユダヤのベツレヘムでイエスが生まれたとき、星に導かれて東方から来た博士たちが、エルサレムの人々に「お生まれになったユダヤ人の王はどこですか」と尋ねまわった。それを聞きつけたヘロデ王は恐れ惑い博士たちを呼び寄せて、星が現れた時期を確かめ「探し出したら知らせよ」と言い渡したが、彼らはその約束を果たさず、幼子とマリアに贈り物を捧げ、自分の国に帰って行った。だまされたと気づいたヘロデはベツレヘムとその周辺に住む2歳以下の男の子をひとり残さず殺させた。ヘロデ王が死ぬと主の使いがエジプトのヨセフの夢に現れて帰ることを促す。国に着いたがその子アケラオがユダヤを治めていたため、元の地ベツレヘムに戻らずガリラヤ地方のナザレと呼ばれる町に移り住む。というのが、「マタイの福音書第2章」の概要である。】

【最近、北アフリカ・中東政変の記事に「エジプトのキリスト教系コプト教徒」の語句をよく見かける。「イエス 逃避 エジプト コプト」で検索すると、聖家族(ヨセフ一家)が住んだとされる修道院や洞窟が各地にあり、コプト教徒たちの信仰の対象になっているなどと記述したブログ「エジプト旅行記」などのファイルが並ぶ。ピラミッドと同じ観光名所であるらしい。コプト教徒は、ヘロデが亡くなる紀元前4年まで3年間、エジプトに滞在中の幼子イエスを主と認めた。12使途が布教活動をする前、世界で最初のキリスト信仰が誕生した地がエジプトである、と主張している。コプト教は「単性論」(注1)と呼ばれる教義のため、カルケドン公会議(注2)で異端とされローマ国教から外された。『現在、教徒はエジプト・エチオピアおよびアメリカ・オーストラリアを中心に5000万人と言われている。エジプトでは人口のおよそ1割程度がコプト教、憲法で信教の自由を保障しており、基本的にはムスリム(注3)とコプトの間では差別はないことになっている。国連の元事務総長であったガリ氏はコプト教徒として有名である。(Wikipediaより)】

(注1)単性論・キリストには神性のみあるという説。神性と人性の2つを認める正統派の両性論と対立する。(新明解百科語辞典)

(注2)カルケドン公会議・451年小アジアのビティニアの都市カルケドン(現在トルコイスタンブール市)において、東ローマ皇帝マルキアヌスが召集して行われたキリスト教の公会議。】

(注3)ムスリム(同胞団)・イスラム原理主義組織、ムバラク時代は非合法でしたが、事実上の最大野党。(注2.3・Wikipedia)